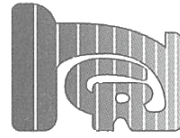


フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533



温故知新 ～故(ふる)きを温(たず)ねて 新しきを知れば、以て師となるべし～

事務局長 西川 克美

中部ろうさい病院は、中京工業地帯における産業医学のセンター病院の役割を担うために、昭和30年3月に内科、外科、整形外科の3診療科、病床数50床で開院、その後順次診療科の増設、増床を行い、現在は28診療科、621床となり、来年は人間であれば還暦にあたる60周年を迎えることとなります。

開院初期の昭和32年度と平成25年度の診療データを比較すると次のとおりです。

区分	平均在院日数	1日平均患者数		労災患者比率	
		入院(うち新入院)	外来	入院	外来
昭和32年度 (1957年)	78日	365人(5人)	503人	50%	19%
平成25年度 (2013年)	16日	458人(29人)	1,391人	3%	2%

開院初期と比べて平均在院日数も大幅に短縮され、患者数も増加していますが、労災患者比率が大きく減少しています。この労災比率だけを見ると、ろうさい病院の役割は終わったように思われがちです。しかし、現在でも年間50万人を超える労働者が被災し、アスベストによる健康被害や精神障害等による労災認定件数が増加しています。また、少子高齢化に伴う就業者数の減少が見込まれる中、定期健康診断での有所見率も50%を超え、予防医療に加えて労働者の治療と就労の両立支援も重要となってきております。このように政策病院としてろうさい病院が取り組むべき課題は山積しています。

このような状況の中で、中部ろうさい病院は政策医療として、労働者に多い腰痛の原因と診断・治療の研究、糖尿病患者さんの就労と治療の両立支援の研究などに取り組んでいます。また、地域医療支援病院として、24時間救急や紹介患者さんの受け入れ、高度・先進的な検査や手術を行う一方で、地域の他の医療機関等と連携を強化し、病状が安定した方の療養施設やかかりつけ医への逆紹介、医療従事者を対象とした研修会、地域の皆さんを対象とした講演会等も実施しています。

さらに、がん診療拠点病院、災害拠点病院として地域の皆さんのセーフティーネット的な役割も担っております。これからも、政策医療を行うとともに、地域の皆さんから、なくてはならない病院と思われるよう日々尽力してまいります。

この「フィリア・レター」は、患者さんと私も医療者の相互理解を深める橋渡しの役目を果たし信頼される病院の手助けになることを期待して、平成14年8月に第1号が発行され、今回で第39号となりました。本冊子が、医療者側の自己満足に終わらないためにも、第1号の精神を忘れずに継続発行していきたいと考えています。



開院初期(昭和33年)の中部ろうさい病院

今月号のお知らせ

- ①温故知新～故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知れば、以て師となるべし～
.....事務局長 西川 克美
- ②検査科のご案内
.....検査科部長 加藤 文一
- ③ジェネリック医薬品ってなんだろう？
.....薬剤部長 長谷川 功

- ④感染対策！みんなで行うことに意味がある!!
.....感染管理認定看護師 福原 順子
- ⑤投書
- ⑥人間ドック健診施設機能評価の認定が更新されました
- ⑥研修センター通信
- ⑥編集後記
- ⑥当院の理念・当院の基本方針